

保育士の転職・再就職実態調査

株式会社トライトキャリア

本調査を行うにあたって

保育の受け皿を整備するために平成30年度より進められた「子育て安心プラン」に続き、令和3年度から令和6年度末までの期間を定めて「新子育て安心プラン」※1が実行されています。「新子育て安心プラン」では、早期の待機児童の解消を目指すとともに、女性の就業率の上昇に対応できる環境整備が進められています。

このような状況を背景に保育士のニーズは高く、保育所等の福祉施設で勤務する保育士の総数も増加傾向にあり、現在約60万人の保育士が働いているとされています。その一方で、保育士資格を保有しながらも何らかの理由で保育職に従事していない潜在保育士と言われる人も約95万人いるとされ、こういった人々の保育現場への復帰に向けた働きかけや環境整備を行い、保育職も労働環境もさらに魅力的なものとなる必要があります。

本調査は、転職・復職を希望する保育士に対してアンケートを行い、離職理由や転職や復職にあたっての選考過程での経験を通じて、保育士の就業上の希望や課題を複数の角度から見出すことを目的に実施しました。本調査の結果が、1人でも多くの保育士の方がいきいきと働くためのヒントとなり、保育士という仕事、そして職場としての保育現場の未来に、より良い変化が起こることを願っています。

※1厚生労働省 新子育て安心プラン

<https://www.mhlw.go.jp/content/11920000/000717624.pdf>

※2厚生労働省 令和2年8月24日「保育士の現状と主な取組」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11907000/000661531.pdf>

【本件に関する問い合わせ先】

トライトグループ広報 E-mail : info (@) tryt-group.co.jp

【報告書内の数値について】 構成比の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は100%とならない場合があります。

【引用について】 本調査を引用いただく際は当社名を明示してください。

サンプル属性 (n=2,736) / 調査概要

【年齢】

1	10代	0.4%
2	20代	37.7%
3	30代	24.0%
4	40代	21.5%
5	50代	12.2%
6	60代以上	4.2%

【性別】

1	女性	95.94%
2	男性	4.02%
3	不明	0.04%

【雇用形態】

1	正社員	63.0%
2	契約社員	4.9%
3	パート (扶養外)	16.8%
4	パート (扶養内)	12.7%
5	その他	2.5%

【就業状況】

1	在職中	74.5%
2	離職中	25.5%

【役職】

1	園長(施設長)	1.8%
2	主任	2.4%
3	副主任	0.8%
4	リーダー	1.9%
5	一般	90.3%
6	その他	2.7%

【経験年数】

1	1年未満	11.2%
2	1年～3年	16.0%
3	3年～5年	17.7%
4	5年～10年	26.7%
5	10年～15年	14.1%
6	15年～20年	8.3%
7	20年以上	6.0%

【勤務先施設形態】

1	保育園	57.3%
2	認定こども園	12.7%
3	幼稚園	8.2%
4	一般企業 (その他)	4.7%
5	放課後等デイサービス	4.0%
6	一般企業 (教育機関・学校等)	3.8%
7	企業内保育園	2.8%
8	学童	1.8%
9	院内病児保育	1.6%
10	その他	3.1%

【地域】

1	北海道	4.1%
2	東北地方	6.5%
3	関東地方	31.1%
4	中部地方	12.9%
5	近畿地方	29.4%
6	中国地方	2.0%
7	四国地方	3.9%
8	九州地方	10.0%

■調査概要

調査方法：電話および対面調査（オンライン含む）
 調査母集団：当社グループサービスの登録者
 調査対象：10代から60代以上の保育士男女3,066名（内、有効回答数2,736）
 調査期間：2021年9月1日～9月30日

目次

- 1. 保育士の離職理由 P5～P9**
 - 1-1. 全体
 - 1-2. 年代（20代・30代）・就業状況別
 - 1-3. 経験年数別
 - 1-4. 役職別

- 2. 転職・再就職先への期待項目 P10～P13**
 - 2-1. 全体
 - 2-2. 年代（20代・30代）・就業状況別
 - 2-3. 経験年数別

- 3. 採用面接で好意的に感じた項目 P14～P17**
 - 3-1. 全体
 - 3-2. 年代（20代・30代）・就業状況別
 - 3-3. 経験年数別

- 4. 採用面接で不安を感じた項目 P18～P21**
 - 4-1. 全体
 - 4-2. 雇用形態別
 - 4-3. 年収の増減状況 年収増減の理由

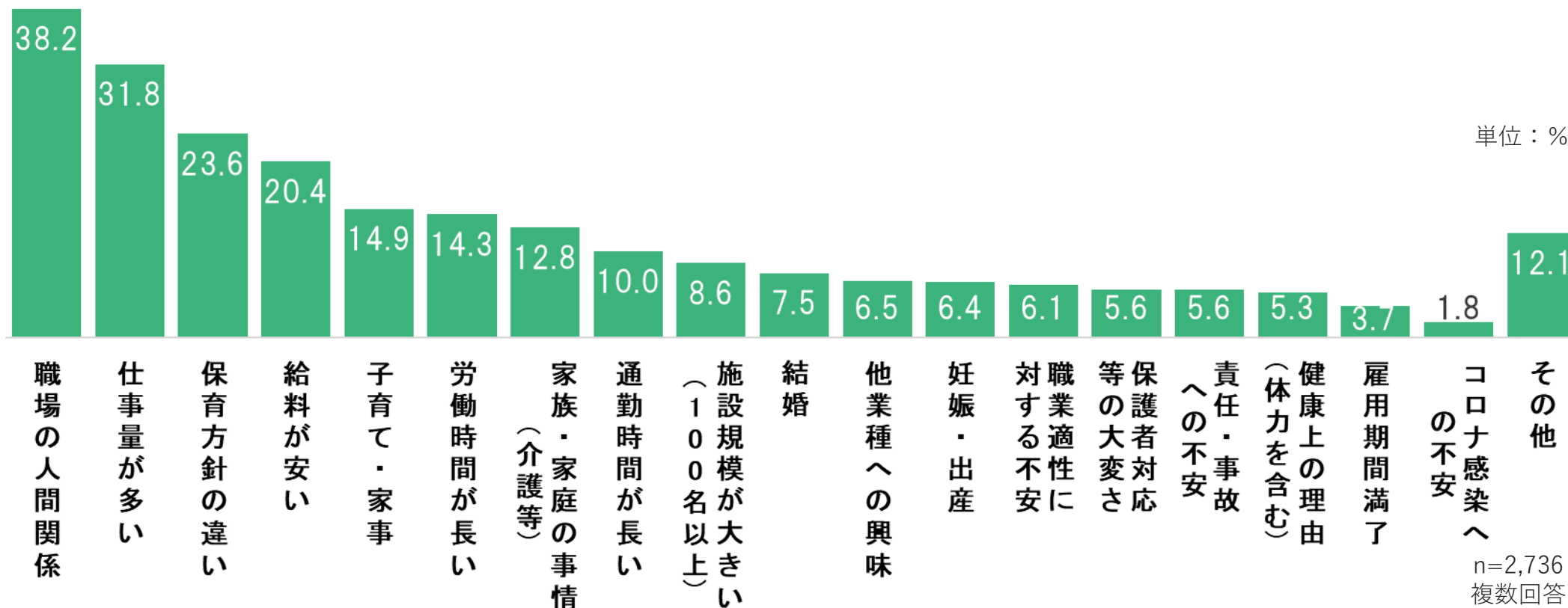
1.

保育士の離職理由

1-1.保育士の離職理由

●保育士が離職の理由として多く挙げたのは、

- ① 「職場の人間関係」 (38.2%)
- ② 「仕事量が多い」 (31.8%)
- ③ 「保育方針の違い」 (23.6%)



1-2.保育士の離職理由 — 年代（20代・30代）・就業状況別

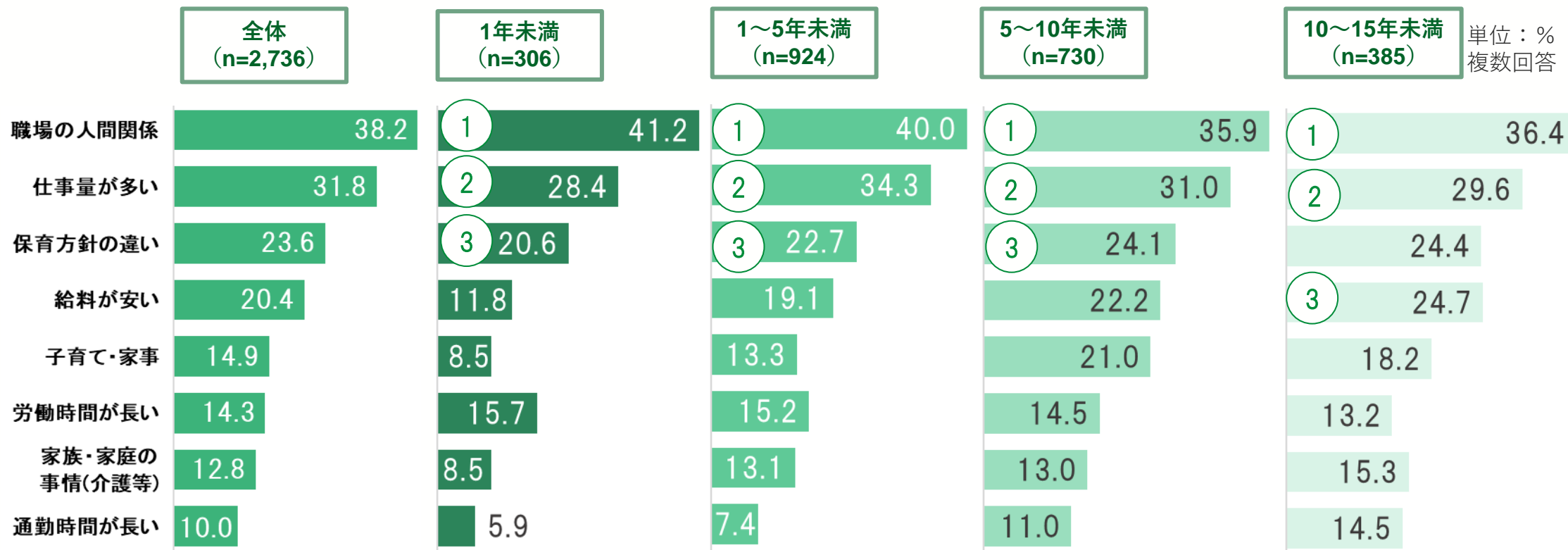
- 20代は30代と比較して「職場の人間関係」や「仕事量が多い」ことが離職理由として強く表れる
- 離職中の人で比較すると、20代では「結婚」が高い割合（21.8%）を示す
- 離職中の人で比較すると、30代では、「子育て・家事」が約半数（46.4%）、次いで「妊娠・出産」が約3割（28.8%）

単位：% 複数回答

	職場の人間関係	仕事量が多い	保育方針の違い	給料が安い	子育て・家事	労働時間が長い	家族・家庭の事情（介護等）	通勤時間が長い	施設規模が大きい（100名以上）	結婚	他業種への興味	妊娠・出産
全体 (n=2,736)	38.2	31.8	23.6	20.4	14.9	14.3	12.8	10.0	8.6	7.5	6.5	6.4
20代在職中 (n=809)	① 44.7	② 40.4	③ 26.1	23.9	6.1	19.2	11.2	8.0	9.5	9.9	5.4	3.2
20代離職中 (5年未満) (n=179)	① 43.0	② 33.5	21.2	8.9	20.7	12.3	15.6	3.9	8.9	③ 21.8	5.0	18.4
30代在職中 (n=442)	① 37.8	② 31.0	③ 26.2	24.0	21.9	14.9	12.4	13.3	10.0	3.8	6.3	3.8
30代離職中 (5年未満) (n=153)	③ 20.9	18.3	11.8	7.2	① 46.4	3.3	19.0	9.8	5.9	15.7	2.6	② 28.8

1-3.保育士の離職理由 — 経験年数別

- 上位の離職理由に経験年数による顕著な差はない
- 「保育方針の違い」・「給料が安い」・「通勤時間が長い」は、経験年数が増えるほど離職理由となる割合が高い
- 「労働時間が長い」は、経験年数が短いほど離職理由となる割合が高い

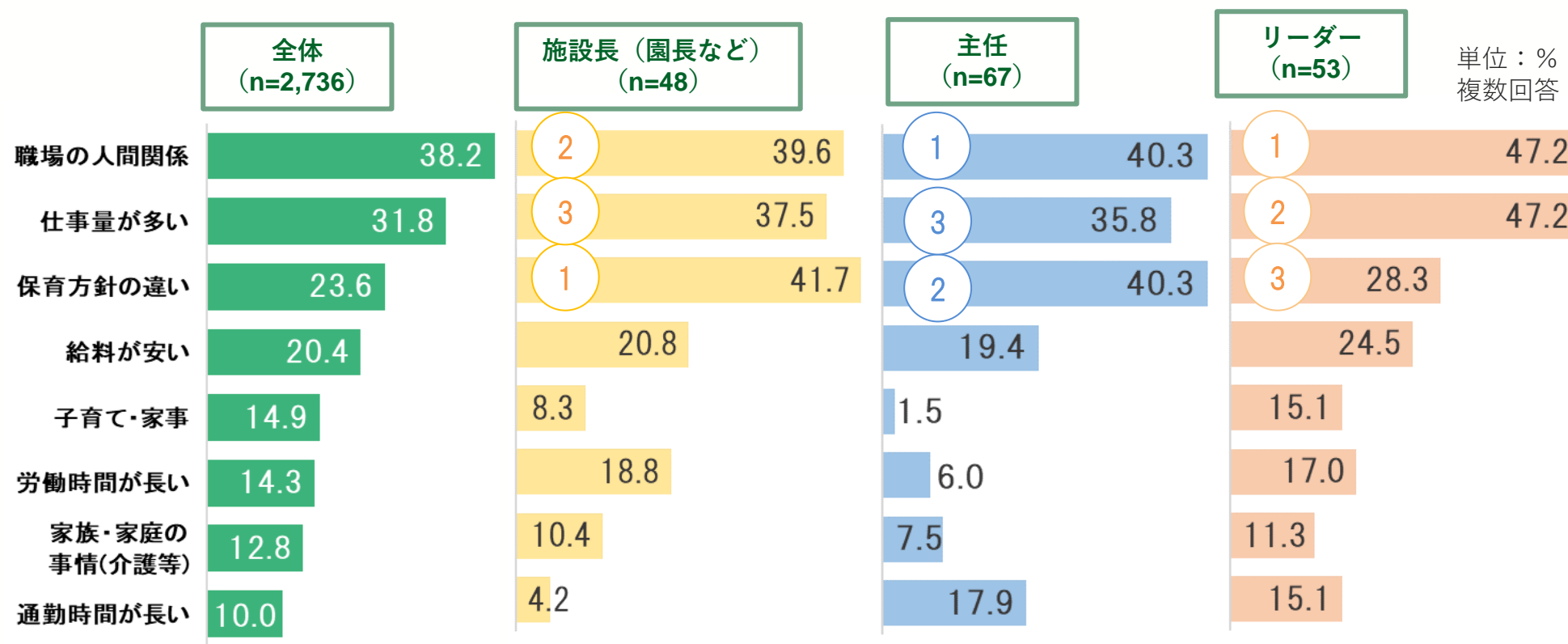


単位：%
複数回答

全体の10%以上が選択した項目のみの比較

1-3.保育士の離職理由 — 役職別

- 上位3件の順位には顕著な差はない
- 上位の役職になるにつれ「保育方針の違い」はより高い割合で離職理由となる
- 全体では約15%の離職理由となる「子育て・家事」は、上位の役職になるにつれ離職理由となる割合は顕著に低下する

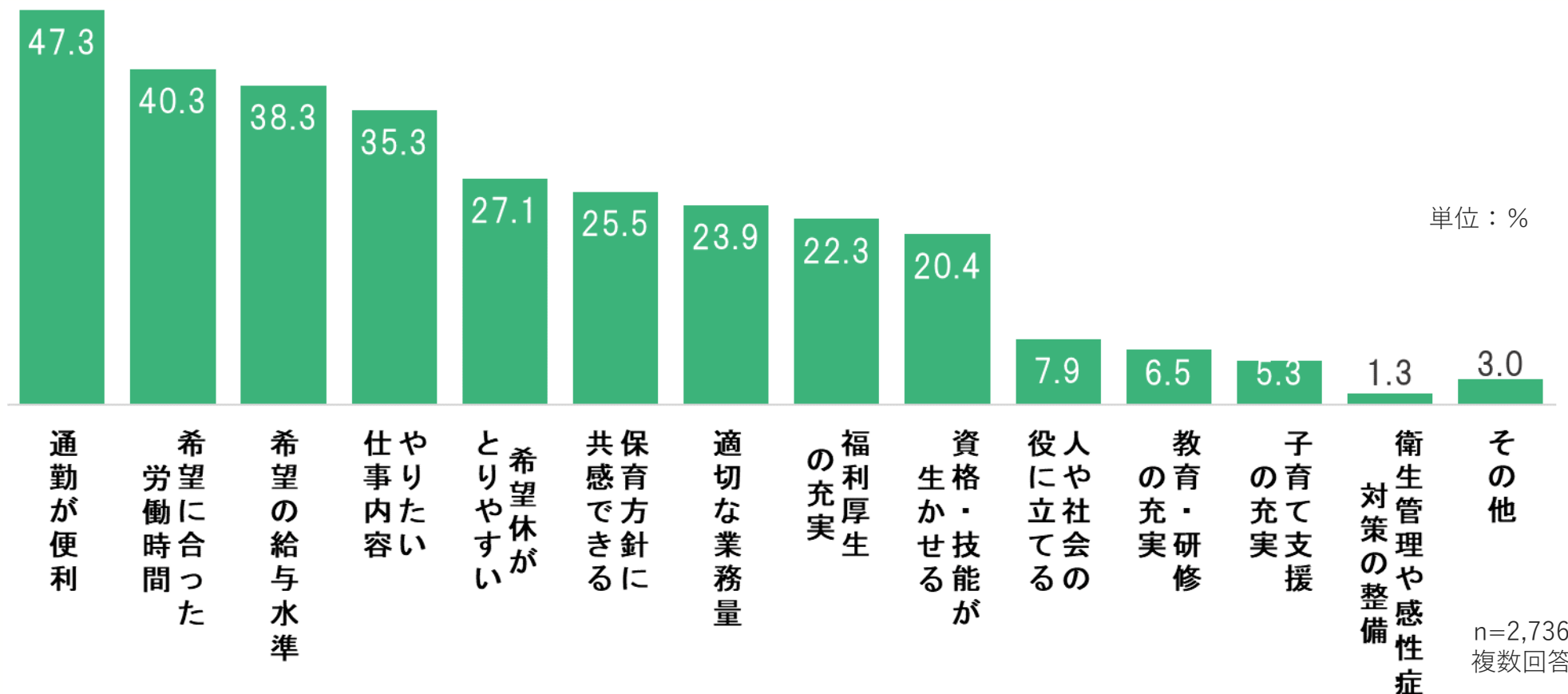


全体の10%以上が選択した項目のみの比較/役職ごとの数値はnが少数であるため参考値

転職・再就職先への期待項目

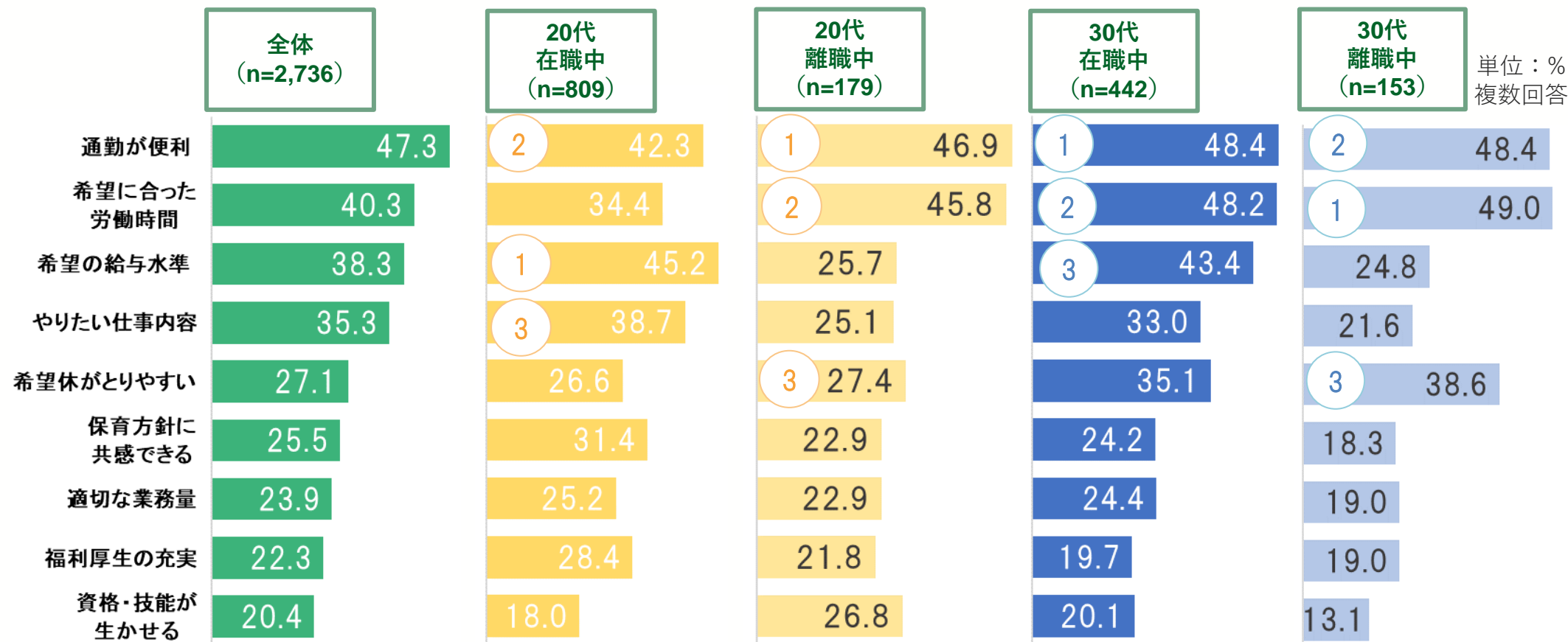
2-1. 転職先・再就職先への期待項目

- 次の職場に期待することは、①「通勤が便利」(47.3%) ②「希望に合った労働時間」(40.3%) ③「希望の給与水準」(38.3%)
- 通勤や労働時間へ期待が強く表れるのは、始業時間の早さや、施設によっては子どもの預り時間が夜間に及ぶなどの保育施設の特徴との関連性が見受けられる



2-3. 転職先・再就職先への期待項目 – 年代（20代・30代）・就業状況別

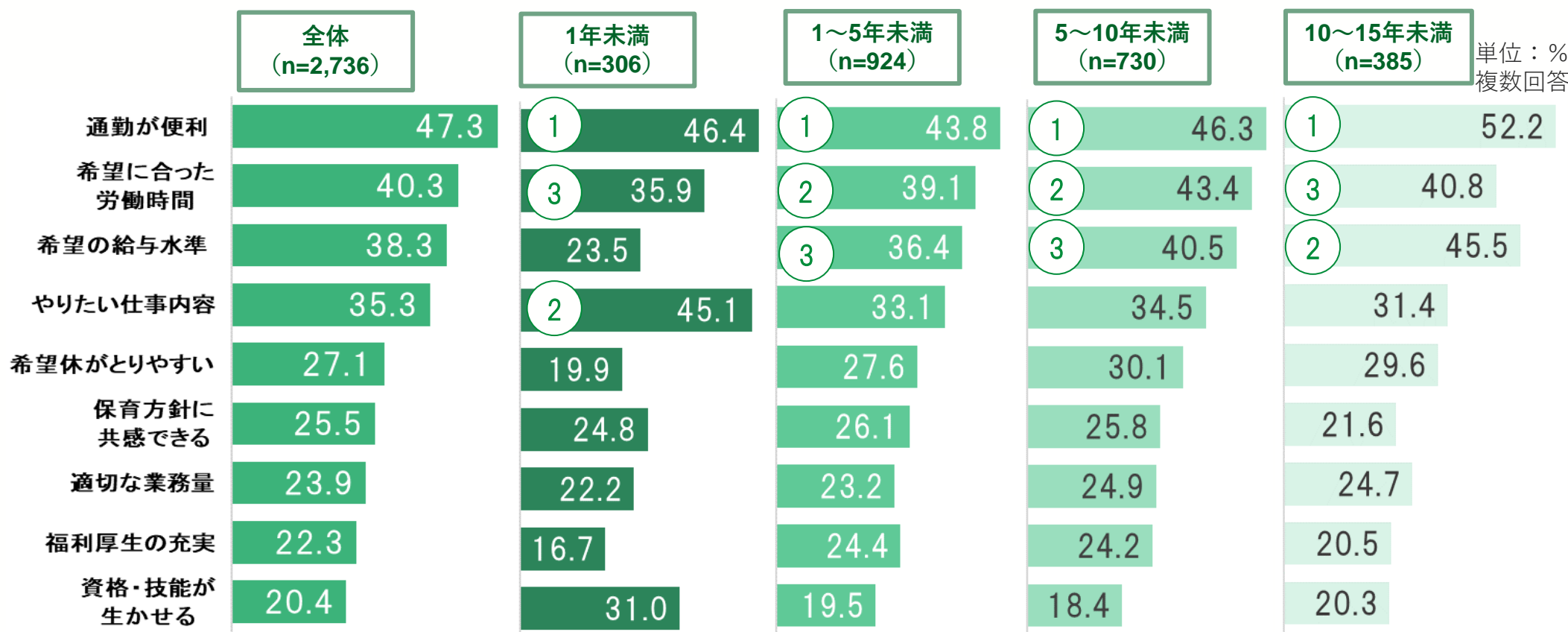
- 同年代で在職中と離職中を比較すると在職中の方は「給与水準」に高い割合で期待する傾向
- 離職中の方は、通勤・労働時間・休暇等のライフスタイルと連動する項目の選択割合が高い



全体の20%以上が選択した項目のみの比較／離職中は離職5年未満

2-3. 転職先・再就職先への期待項目 – 経験年数別

- 経験1年未満で離職したり検討状態にある人は、「やりたい仕事内容」「資格・技能が生かせる」の割合が高く、経験の浅い時期に実際の業務の内容が希望と合致しているかを見極めることの難しさがうかがえる
- 「希望の給与水準」を選択する人は経験年数が長くなるにつれ割合が高くなる

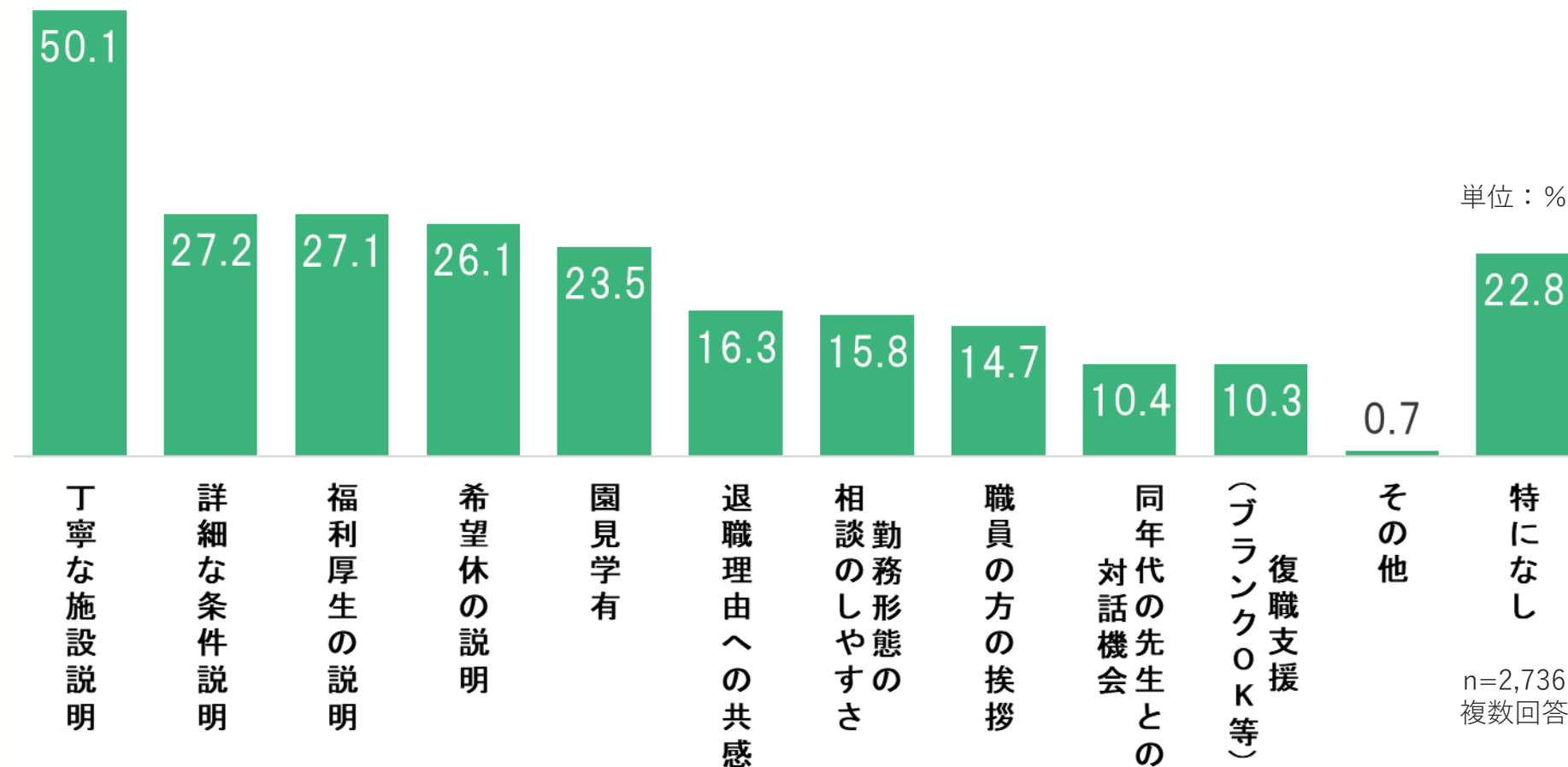


全体の20%以上が選択した項目のみの比較

採用面接で好意的に感じた項目

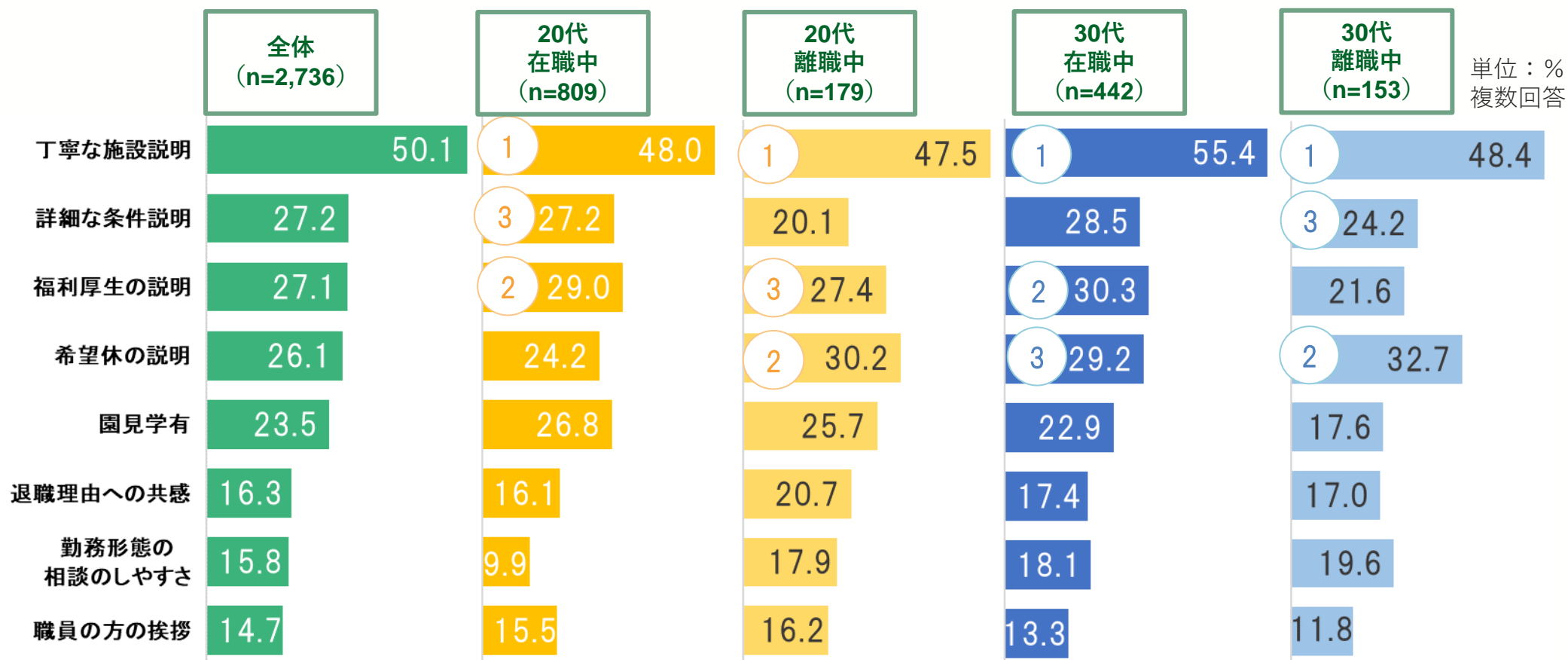
3-1.採用面接で好意的に感じた項目

- 「丁寧な施設説明」を半数以上（50.1%）が選択し、当該施設で働くイメージが持てるような説明の重要性が表れている
- 「特になし」を2割以上（22.8%）が選択し、採用面接時に施設側の熱意が十分に伝わっていない可能性がある



3-2.採用面接で好意的に感じた項目 — 年代（20代・30代）・就業状況別

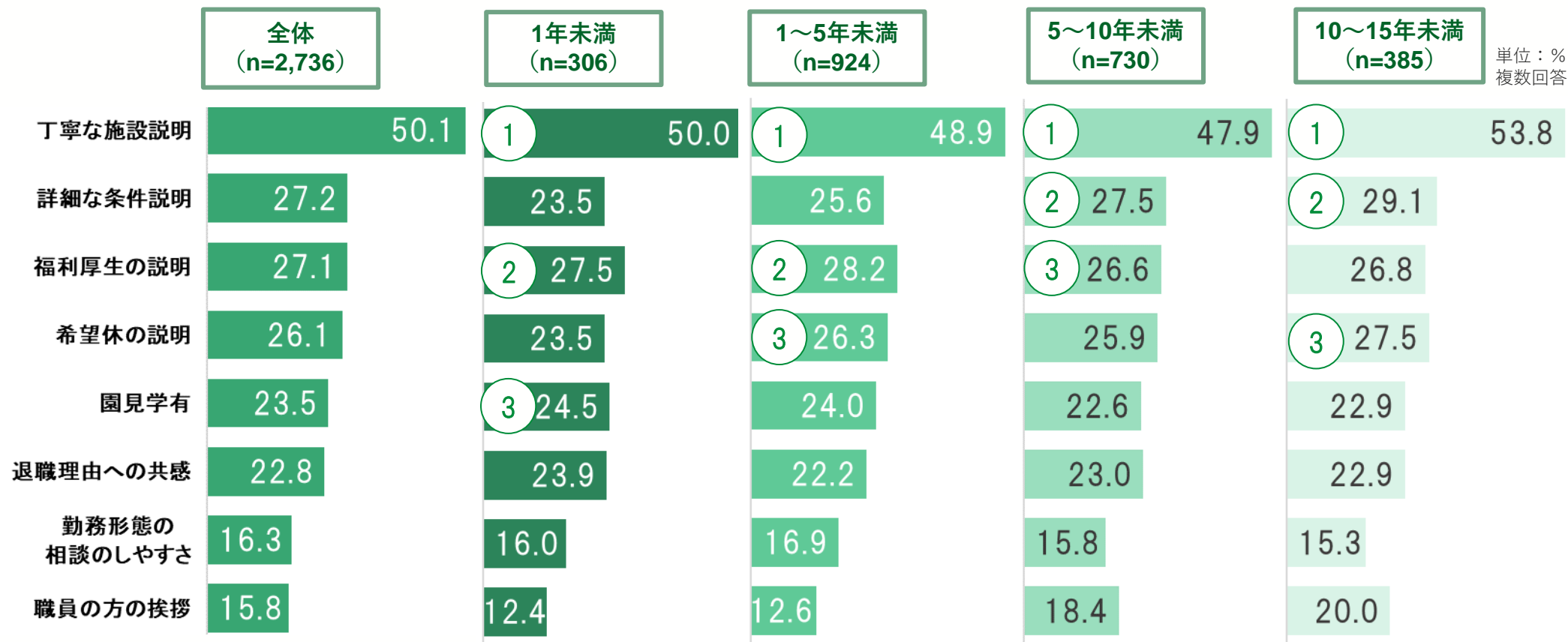
- 「丁寧な施設説明」がいずれの年代・就業状況においても最も好意的に捉えられている
- いずれの年代でも「希望休の説明」は在職中よりも離職中でより高い割合で好意的に捉えられており、離職中の人の離職理由でライフイベントとが上位になる状況が反映されている



全体の15%が選択した項目のみの比較 / 離職中は離職5年未満

3-3.採用面接で好意的に感じた項目 — 経験年数別

- 経験年数に関わらず「丁寧な施設説明」が最も多くの人にとって好意的に捉えられている
- 経験年数が長くなるほど「詳細な条件説明」が好意的に捉えられる割合が高い

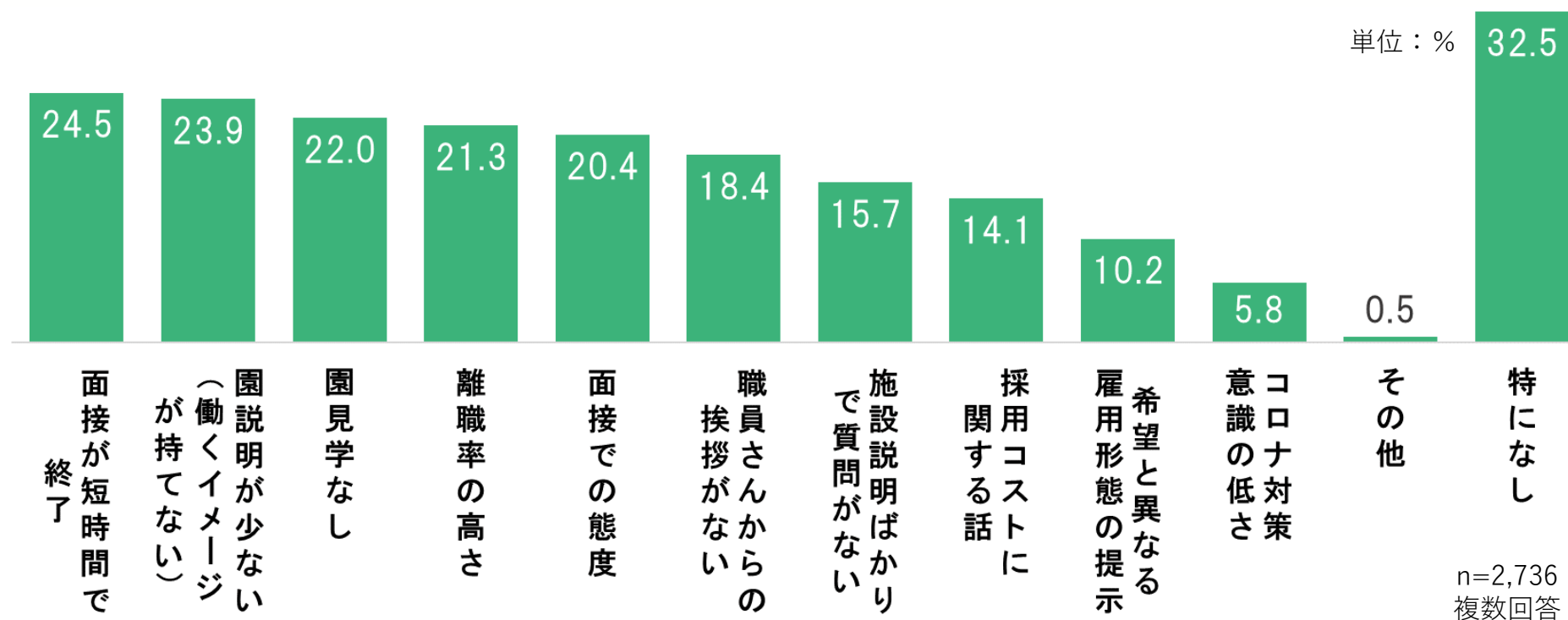


全体の15%以上が選択した項目のみの比較

採用面接で不安を感じた項目

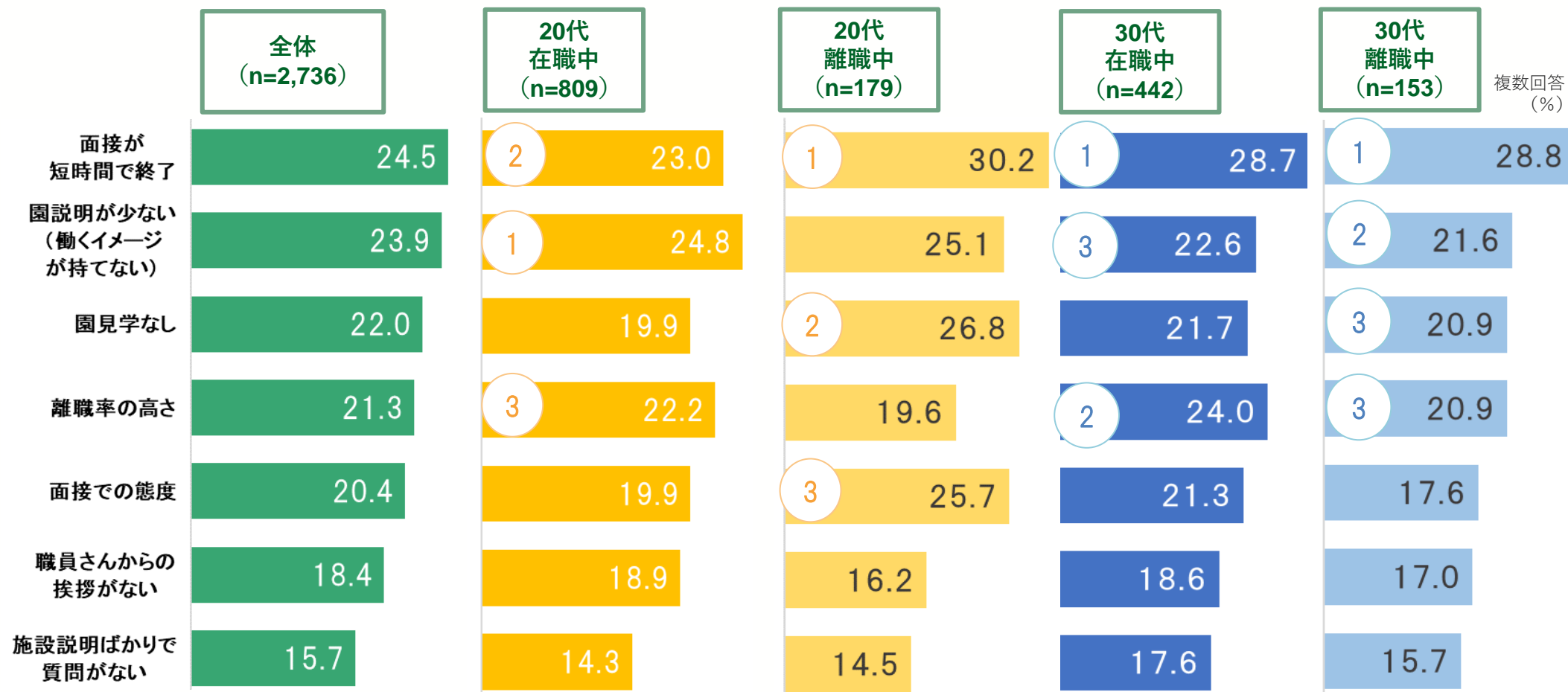
4-1.採用面接で不安を感じた項目

- 「特になし」の回答は3割程度（32.5%）であり、採用面接に臨んだ保育士の約7割が施設側の面接時の対応で何かしらの不安を感じている
- 十分な面接時間や園の説明、園見学の実施など、面接を働いた場合のイメージが持てる時間にする対策が必要



4-2.採用面接で不安を感じた項目 — 年代（20代・30代）・就業状況別

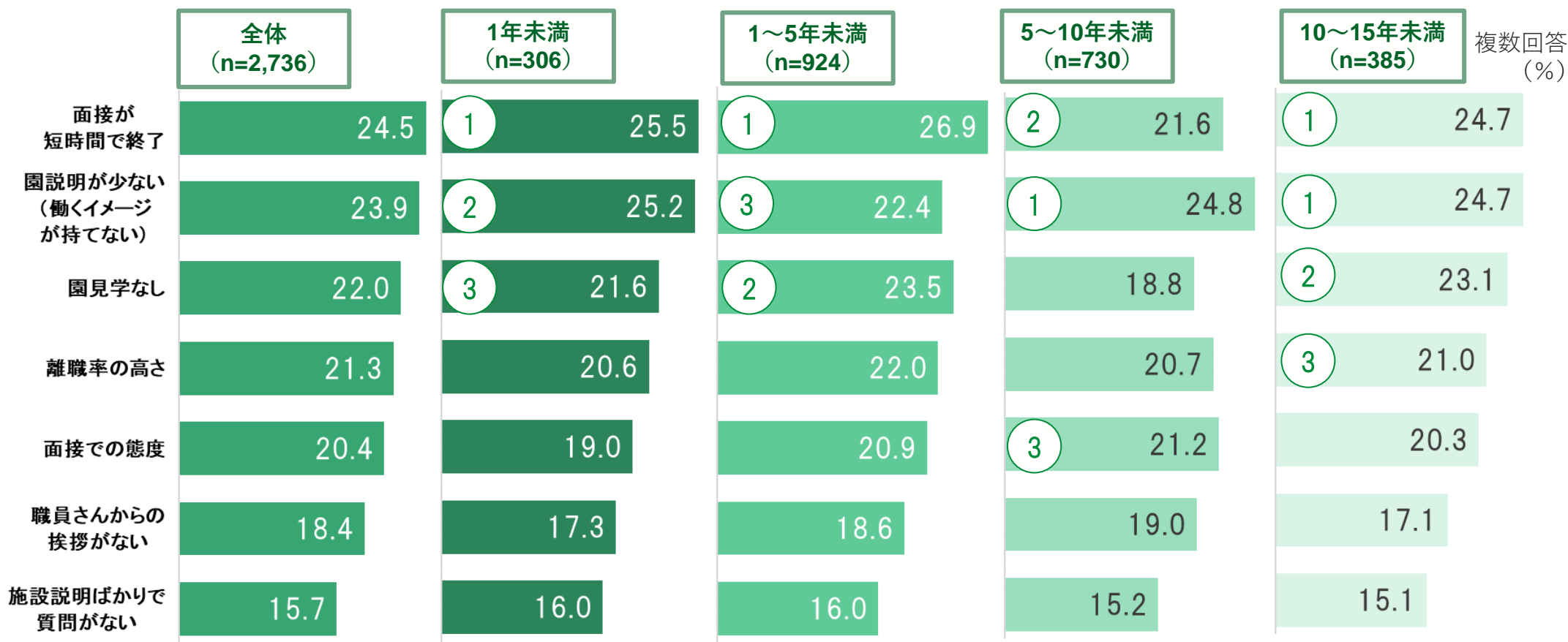
●年代と就業状況で採用面接で不安になった項目に顕著な差は見られない。年代や就業状況に関わらず、採用面接時の施設側の丁寧な対応が必要であることがわかる



全体の15%が選択した項目のみの比較 / 離職中は離職5年未満

4-3.採用面接で不安を感じた項目 — 経験年数別

●経験年数による顕著な差は見られない。経験年数の長短に関わらず、面接での施設側の丁寧な対応が必要であることがわかる



全体の15%以上が選択した項目のみの比較



TRYT キャリア

tryt-career.co.jp